

昨年を上回る応募

俳句で文化の薫る町に80076句

俳句で文化の薫る町づくり推進事業として、今年で五回目の開催となる「風と恋の俳句コンテスト」は、九月十日に締め切られました。

集計の結果、昨年（六千九百十二句）を千句余りも上回る八千七百六句（町内千四百四十九

句）の応募がありました。全都道府県のほか、アメリカやブラジルなど海外からも作品が寄せられました。

テーマ別では「風の句」が四千九百十七句、「恋の句」は三千五百九十九句で、部門別では幼児・小学生千百一十一句、中学生千八百三十一句、高校生千二百八十六句、一般三千八百四十八句となっています。

選者の黛まどかさんによる審査が進められており、入賞者には今月上旬に直接通知されます（選外の通知はありません）。町民を対象とする特別賞も設けられています。

11月4日に表彰式
吟行会も同日開催

俳句コンテスト表彰式は十一月四日午後一時から、葛巻町総合センターで行われます。各賞の表彰や選者による入賞作



俳句の集計作業の様子。応募はがきは作品のほか、町への応援メッセージも多く寄せられました。



俳句コンテスト選者
黛まどかさん

品の講評があります（入場無料）。また、この日は午前十時から黛さんとともに、袖山高原風力発電施設と平庭高原の白樺林を散策する吟行会も予定されています。テーマは、季節にあった句を自由に詠む「当季雑詠」で、優秀作品は午後からの俳句コンテスト表彰式で表彰されます。鮮やかな紅葉に彩られる晩秋の山々を歩きながら、あなたも俳句を楽しんでみませんか。参加の申し込みは、生涯学習課（☎役場内線一六六）まで（締め切り十月三十日）。



俳句の楽しみ①
親子で楽しむ

くりこぼろ

おしゃべりまがて食べこぼろ
ごはんに栗がまざっているのが「くりごぼろ」、楽しいおしゃべりがまざっているのが家族みんなの夕ごはん。作者は「まぎて」という言葉を見つけました。

天国はもう秋ですかお父さん

俳句は詩ですから、心に響くことが大事です。お父さんに話しかけたそのままの言葉を俳句にしたので、心に響く俳句になりました。

◆ それぞれの子どもが思っている素直な気持ち、本当の気持ちを、俳句という五・七・五の言葉にすることができたなら成功です。俳句に作ってみたいことが見つかったら、五・七・五の言葉になるまで、指で数えることを教えたり、声を出して何度も言ってみることを教えたりして、根気よく言葉を工夫するのを待ちましょ。

参考 蝸牛新社「小学生の俳句歳時記

下天摩 惟さん（葛巻中2年）の作品

水の惑星地球に触れよう

第1回エコライフセミナー

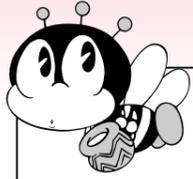
「身近な自然を観察し、地球は生物にとって恵まれた環境の星であることを学ぼう」というテーマで開催されているエコライフセミナー。第一回教室は九月三日、小屋瀬地区などで行われました。

サクラソウ群落を見学した後、実際に山形川に入って水生昆虫を観察しました。鈴木優さん（葛巻高三年）は「カワシンジュガイなどがたくさんいる川にするにはどうしたらいいか、みんな考えてなければいけないと思った」と話していました。次回以降は、月や石の観察などが予定されています。



山形川で水生昆虫を観察。カワシンジュガイを発見し「川に貝がいるなんて知らなかった」という声も聞かれました

「やりたいと思うこそ生涯学習」



まなびい掲示板

第16回 生涯学習フェスティバル

“心に学びの木を植え
生涯学習の森を創造しよう”

とき 10月21日(土)~22日(日)
ところ 社会体育館



昨年章履づくりに挑戦した
昨年度の公開教室の様子

★文化展

町文化協会所属の団体や趣味サークル、個人などの見ごたえある作品を展示します。

★学びの体験コーナー

いろんな学びを体験してみませんか。

<公開教室> ①10:00~②13:30~
21日(土) 切り絵
22日(日) 万華鏡、ミニぼうき

※事前にお申し込みください(定員各20人)

<体験コーナー> 両日10:00~16:00
さき織り、押し花(以上体験料200円)、
ニュースポーツ、16ミリ映画上映会、
中高生ジュニアリーダー「遊びランド」
※当日自由に体験できます

お問い合わせは、生涯学習課（☎役場内線166）まで

公民館図書室から

「星になった少年

ぼくの夢はぞうの楽園」

島田和子 著

「日本最年少のぞう使い」になった少年の次の夢は、「ぞうの楽園」をつくることだったのですが…。



「やさしさの木の下で

ぼくとびょうきとファミリーハウス」

くすもとみちこ 著

突然家族の誰かが病気になったら…。病気になって初めてそれまで忘れていたことに気づくことがある。



「いちばんたいせつなもの

A long way home」

ごとうやすゆき 著

あなたのいちばんたいせつなものは何ですか?こころに残る、いのちに響く、小さいけれど大きな絵本。

